

# Newsletter

## FD・SD活動推進委員会

# 2023 年度

### 2023年度を 振り返って…



平素よりFD・SD活動にご尽力いただき、誠にありがとうございます。年刊誌Newsletter第7号をお届けします。

2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類となり、またコロナ禍のため入学式が1年遅れで行われた学生が卒業する節目の一年となりました。ポストコロナの価値観の中で、学修者本位の教育を実現することが課題となりました。春期FD・SD研修会では、「リベラルアーツ」を手がかりに、本学の魅力やめざす教育を再確認しました。さらに、ChatGPTを始めとする生成AIの隆盛により、学生たちの学び方や教職員の業務のあり方も変化しつつあります。これを踏まえて、秋期FD・SD研修会では生成AIの活用について探求しました。課題にチャレンジし続ける私達の授業は、本年度も学生達から高く評価されました。

2024年度は合理的配慮が法的義務化されます。建設的な対話を通じて、多様な学びや成長に際して教育や関わりを調整していくことが求められます。次年度も皆さまのFD・SDが促進され、モチベーションが高まるような活動を推進してまいりたいと思います。ご提案とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 2023年度の取り組み

- 4月
  - ・ 学長と“樟蔭”について語る会（4/7）
  - ・ 草の根FD・SD活動「manabaコース見学」（4/27～3/31）
- 5月
  - ・ 授業改善のための中間アンケート（5/8～5/20）
  - ・ 春期授業見学・公開（5/8～7/31）
  - ・ 草の根FD・SD活動「科研費にチャレンジ～自分の研究を他者にアピールする～」（5/25）
- 6月
  - ・ 「授業改善のための中間アンケート実施状況」に関するアンケート（6/5～6/30）
  - ・ 春期（第1回）SDサロン「ヘアメイクから身だしなみを考える」（6/8）
  - ・ 春期FD・SD研修会「本学の教育の魅力を高め発信するには」（6/22）
  - ・ 草の根FD・SD活動「アセスメントテストを活用したFD・SD（1年生GPS-Academicテスト）」（6/22～7/13）
  - ・ 草の根FD・SD活動「『学修者本位の大学教育の実現に向けた今後の振興方策について』を活用したFD・SD」（6/26～7/31）
- 7月
  - ・ 草の根FD・SD活動「科研費にチャレンジ～第2弾！申請書のピア・レビュー～」（7/5）
  - ・ 春期授業改善のためのアンケート（7/10～8/4）
  - ・ 草の根FD・SD活動「2023年度新入生対象国語力強化課題実施報告書を活用したFD・SD」（7/18～10/27）
  - ・ 草の根FD・SD活動「研究倫理・コンプライアンス研修会を活用したFD・SD」について（7/27～8/9）
  - ・ 春期FDサロン～アフターコロナに向けて本学の教育の魅力をも高めるために～（7/27）
- 8月
  - ・ 人権研修会（8/17）
- 9月
  - ・ 第4回SD研修「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」（9/27）
- 10月
  - ・ 秋期授業見学・公開（10/2～1/22）
  - ・ 授業改善のための中間アンケート（10/30～11/11）
- 11月
  - ・ 草の根FD・SD活動「アセスメントテストを活用したFD・SD（3年生PROGテスト）」（11/23～12/22）
  - ・ 「授業改善のための中間アンケート実施状況」に関するアンケート（11/27～12/23）
- 12月
  - ・ 秋期（第2回）SDサロン「各種申請に関する手続きについて」（12/13）
  - ・ 秋期FDサロン「今年一年の教育活動を振り返って」（12/21）
- 1月
  - ・ 秋期授業改善のためのアンケート（1/9～2/3）
  - ・ 草の根FD・SD活動「『学内禁煙のための健康教育』教育啓発ポスターを作成しました」（1/25）
  - ・ 秋期FD・SD研修会「生成AIの動向と教育現場での活用について」（1/25）
- 3月
  - ・ 秋期（第3回）SDサロン「身だしなみを整えるための「ネイルケア体験」」（3/7）
  - ・ 草の根FD・SD活動「科研費にチャレンジ～問いを極める～」（3/26）

# 研修会の実施報告

## ●学長と“樟蔭”について語る会(4/7開催)



樟蔭の桜が満開の頃、大阪樟蔭女子大学の教職員の方を10名お招きし、「学長と“樟蔭”について語る会」を行いました。本会では新たな教職員の皆様にも、樟蔭をより深く知って頂けるよう、様々な角度から樟蔭の取り組みについて説明をさせていただいています。小森副学長から本学の教育的な取り組みを、そして高橋副学長からは、日頃の学生の様子や支援の方法などについてご説明頂きました。また、竹村学長からは、本学の歴史や創立の背景などについて触れていただいた上で、教員活動評価の方法などについてお話を聞いて頂きました。アイスブレイクでは「学長と一致ゲーム」を行い、その後のフリーディスカッションでも和気藹々とした雰囲気の中で行われました。また、本会の最後には学内の主要箇所を回る樟蔭ツアーを行いました。



開催日：2023年4月7日(金) 13:00-15:00  
参加者：13名(新任教員：5名、新任職員4名、専任教職員：10名)  
場所：清志館3階 G306教室

「本学の教育の魅力を高め発信するには」というテーマで、竹村学長にお話を頂きました。

竹村学長からは中央教育審議会のグランドデザイン答申を念頭に、学修者本位の教育への転換への重要性を伺いました。たしかに、仕組みの上では学修者本位とするために変革は必要でしょう。しかし、教職員の大多数はもうすでに学修者本位の教育実践をされているように私は思います。仕組みの変革と共に、教育力を高め「提供する教育で選ばれる大学に」なるべく、決意を新たにされました。

また、入試広報の視点から川上入試部長には新生入生・卒業生アンケートの結果から、本学の魅力についてお話を頂きました。さらに、各学科における取組事例を、健康栄養学科は角谷が、児童教育学科は奥井先生から報告をいただきました。

FD・SD活動が本学の教育の魅力向上に寄与するかどうか、疑う余地はないでしょう。今後も、本学の魅力を高める魅力的な研修会企画に加え、皆様の活動を推進して参りますので、何卒ご協力の程よろしくお願いたします。

## ●春期FD・SD研修会(6/22開催)

開催日：2023年6月22日(木) 16:50-18:10  
参加者：92名(専任教職員：59名)  
場所：G501教室



## ●秋期FD・SD研修会(1/25開催)



開催日：2024年1月25日(木) 16:30-18:00  
参加者：73名(専任教職員68名)  
場所：G501教室

秋期のFD・SD研修会は「生成AIの動向と教育現場での活用について」というテーマで、榎山和也先生(NTT西日本)に開催いただきました。ChatGPTをはじめとする生成AIが登場し、大学では学生のレポートや論文に悪用されることへの対応に揺れ動いています。一方で、私たち教職員の教育・研究等の業務を効率化するツールとしての期待も高まっています。先端技術に精通し、企業における生成AIの活用にも詳しい榎山先生に、生成AIの使い方・活かし方について教えていただきました。実際にChatGPTが「レモン太郎」の物語を生成する様子を見ながらの研修会は、大変ワクワクするものでした。

生成AIは、会話型なので自分のイメージに合致した文章や画像などを、何度も修正しながら生成することができるのがメリットです。今後、AIがアウトプットしたものを人間がチェックするように業務内容が変化することが予想されます。学生の活用による学びの補助・支援(ブレインストーミング、文章校正など)や教職員の活用による業務効率化(テスト作成やレポート採点の補助など)で生成AIを活用することが期待できます。学生が生成AIを使いこなすための教育も必要な時代になってきました。

## ●草の根FD活動: 科研費にチャレンジ ～自分の研究を他者にアピールする～(5/25開催)

## ●草の根FD活動: 科研費にチャレンジ ～第2弾! 申請書のピア・レビュー～(7/5開催)

本FD活動の目的は、第1に、科研費の申請数を増やすことです。第2に、「他者の視点から選ばれる申請書」を作成することです。

第1弾「科研費にチャレンジ: あなたの不安をとりのぞきます」は、18名の教員が参加しました。ゲスト講師として今田晃一教授と二橋拓哉講師をお招きし、採択された申請書が完成に至るプロセスを対談形式で浮き彫りにしました。また、その後のワークショップでは、参加者の抱える研究上の問題を解決するための議論が展開されました。

第2弾「申請書のピア・レビュー」では、4名の教員が参加しました。教員間のピア・レビューでは「タイトル」「概要」「核となる図表」の3点に留意し「他者の視点から選ばれる申請書」を目指してブラッシュアップが行われました。事後アンケートでは、また企画してほしいとのご要望の声が多くありました。本学教員にとって、研究へのモチベーションを高める機会の一つとなつたのではないかと思います。

開催日：2023年5月25日(木) 16:30~18:00  
参加者：18名 場所：G404教室

開催日：2023年7月5日(水)~8月4日(金)  
参加者：4名



## ●SDサロン(春期:6/8 秋期:12/13・3/7開催)

### 第1回「ヘアメイクから身だしなみを考える」

今回のSDサロンでは、本学の個性豊かな学部学科での学びや先生方の様々な取り組みを体験し合おう、ということをもっと、化粧ファッション学科の高木大輔先生をお招きし、ヘアメイクの方法についてレクチャーしていただきました。基本的なスキンケアの方法から女性だけでなく男性のヘアメイクのポイントまで、実演を交えながら、楽しく学ぶことができました。

開催日：2023年6月8日(木) 12:30-13:30  
参加者：10名(専任教員) 場所：J310教室



#### 出張精算について

個人研究費の場合

申請書種別	申請期間	提出先	備考
個人研究費等支払申請書	12月15日～3月15日	IR・教育調査課	
出張精算書	12月15日～3月15日	IR・教育調査課	
出張報告書	12月15日～3月15日	IR・教育調査課	

- 申請後、印刷した出張精算書の右上に押印してください。
- 印刷・押印した出張精算書
- 個人研究費等支払申請書
- 出張の内容がわかる資料(学金のプログラムや開催案内等)の3点を一緒にIR・教育調査課へ提出してください。

### 第2回「各種申請に関する手続きについて」

今年度も『各種申請に関する手続きについて』をテーマにSDサロンを開催いたしました。IR・教育調査課の明石様が昨年からリニューアルしてくださったパワーポイントをもとに、詳しくご説明くださいました。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学会等であちらこちらに出向かれる先生方が増えてまいりました。新任教員はもちろん、長くお勤めの先生方にとりましても非常にためになるサロンでした。

開催日：2023年12月13日(水) 12:20-13:00  
参加者：24名(専任教員) 開催：Teams

### 第3回「身だしなみを整えるためのネイルケア体験」

身だしなみは指先からということで、化粧ファッション学科の真殿由加里先生に、ネイルケアの方法について教えていただきました。参加した教職員は、自身で爪の長さや形を整え、キューティクル処理を行い、ハンドマッサージを行い、爪表面を磨き、オイルで仕上げ、指先を美しくしていきました。ネイルケア体験後は、美しくなった指先に参加者から驚きの声があがりました。綺麗な指先でキーボードを叩いたり、本や書類をめくったりすることで、毎日が楽しくなりそうです！

開催日：2023年3月7日(木) 12:10-13:00  
参加者：11名(専任教員) 開催：JO15教室



## ●春期・秋期FDサロン(春期:7/27・秋期:12/21開催)

### 春期「アフターコロナに向けて本学の教育の魅力を高めるために」

新型コロナウイルス感染症拡大により、みなさんで集まって、教育について語る機会がありませんでしたが、何年かぶりにやっと顔を合わせて、また飲食を共にしながら、和気あいあいと『本学の教育の魅力を高めるには』というテーマでお話ことができました。みなさん「学生ファースト」、学生目線でのいろいろな案が出され、今さらながら学生思いのいい大学だなと感じました。

### 秋期「今年一年の教育活動を振り返って」

今年度二度目の対面でのサロンはライフプランニング学科の坂根先生にお願いし、フードスタディキッチンに於いて、『今年一年の教育活動を振り返って』というテーマで開催されました。坂根シェフの手作りのメニューは、生ハム「ハモンセラノ」・カプレーゼ・ラザーニャ・ニョッキ・パスタ、そして最後には但馬牛のステーキ2種を焼き方についての指導付きで頂きました。みなさんで、美味しいお食事を頂きながら、今年一年を振り返り、とても有意義な時間を過ごすことができました。

春期<2023年7月27日(木) 16:30~/参加者:16名/場所:G502・G503教室>

秋期<2023年12月21日(木) 16:30~/参加者:16名/場所:フードスタディキッチン>



## FD・SD関連書の紹介

「個人の改善なくして、社会の改革はありません。」手垢のついた明言を引用するまでもなく、我々教員ひとりひとりの改善がなければ大学全体の改革は実現しないということは、難なく納得がいくでしょう。大学教員が取り組む改善と言えば、もちろん授業改善です。そこで今回は、一冊まるごと授業改善をテーマとした珍しい本を紹介いたします。なぜ、授業改善が必要なのか。授業をどのように観察・分析し、変えていくのか。どうすれば、授業改善を深められるか。これらの疑問に対する回答が、実践的で具体的かつ体系的にまとめられています。学修者本位の大学教育の実現に向けた教育改革を進めるためにも、皆様の授業改善に役立つと自信を持っておすすめ致します。また本書は、よりよい授業をしたいと考える大学教員を支援することを目的とした「シリーズ 大学の教授法」6冊内の1冊です。同シリーズの他の本も合わせて、ぜひご覧下さい。



佐藤浩章・栗田佳代子 編著  
『シリーズ大学の教授法6 授業改善』  
玉川大学出版部 2021年

# 数字で見るFD・SD活動（2023年度）

## 100%

### FD・SD活動への参加率（全体100名中100名）

●今年度、教員の全員がFD・SD活動に参加されました。本学におけるFD・SD活動の活発さを示す美しい数字です。積極的なご参加、ありがとうございました。これからもFD・SDを通してより良い授業、より良い大学を創ってまいります。

## 98% / 99%

### FD・SD研修会満足度（春期/秋期）

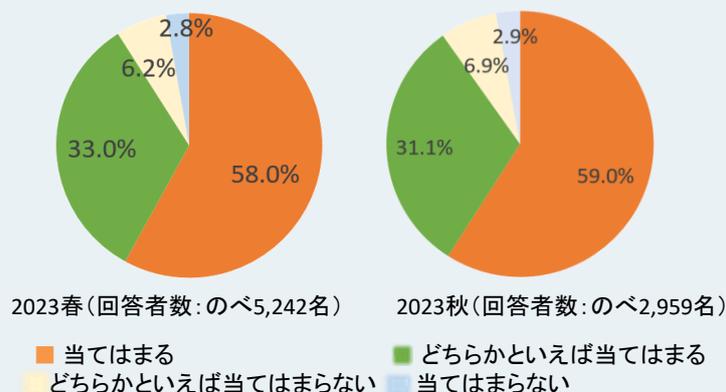
●今年度もFD・SD研修会は、春期・秋期ともに大変ご好評いただきました。研修会のアンケートでいただいた先生方からのご意見を踏まえて、皆さまのFD・SDに役立つ研修会を開催してまいりました。これからもさらに皆さまに満足いただけるような研修会を企画していきます！

## 91% / 90%

### 授業改善のためのアンケート 満足度（春期/秋期）

●授業に対する満足度に関する設問に90%以上の学生が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しました。他の授業に関する設問において概ね高評価が得られました。わずかながら回答率も満足度も下がっているため、学生達と一緒にさらに良い授業にしていきたいと思います。

### 授業に対する満足度（設問8）



## 71%

### FDポイント基準以上取得者数（全体100名中71名）

●FD・SD活動への自主的、積極的な参加を促進することを目的として、専任は単年度に7ポイント以上を目安に、新任専任教員は9ポイント以上を取得することを基準としております。昨年度の71.4%には達しませんが、それでもなお皆さんが積極的にFD・SD活動に取り組んでいることが一目でわかります。

## 10名

### FDポイント表彰対象者数

●FDポイントを、単年度で20ポイント以上取得された方、および累計で100ポイント取得された方は、年度初回の教授会にて学長から特別に顕彰されます。今年度は20ポイント以上取得が6名、累計100ポイント取得が4名おられ、計10名の先生方が顕彰されることになりました。さらに今年度200ポイントに達した方もおられました。

## 10件

### 草の根FD・SD活動件数

●草の根FD・SD活動件数は前年度引き続き10件もの活動がありました。次年度も本委員会では様々な取り組みを企画してまいります！皆さまからの提案や、皆さまが日々行なっているFD・SD活動の申し出もお待ちしております。

●より多くの教職員がFD・SD活動に積極的に参加できるよう、FD・SD活動に関する情報や考えを共有できるツールとして「FD・SDメーリングリスト」を活用しております。

《FD・SD活動推進委員会へのご意見・ご連絡》

[fd-sd@osaka-shoin.ac.jp](mailto:fd-sd@osaka-shoin.ac.jp) へ送信してください

●「FD・SD活動推進委員会で取り上げてほしい」等、サロンや研修会等のリクエストがありましたら、是非ご連絡ください。皆さまの積極的なFD・SD活動への参加を期待しております！

## FD・SD活動推進委員会

問い合わせ先：大学事務部 修学支援課 ([fd-sd@osaka-shoin.ac.jp](mailto:fd-sd@osaka-shoin.ac.jp))